

東京の中小企業振興を考える有識者会議

# 起業の担い手の動向



2020年1月30日(木)14:00~15:10

田村真理子  
日本ベンチャー学会事務局長

# 起業の担い手の動向

## <データ>

- 「2019年度起業と起業意識に関する調査」  
日本政策金融公庫総合研究所調査
- 「起業意識の国際比較」『2019年版小規模企業白書』

## <事例>

- 「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」  
(主催:日本政策金融公庫) 全国の高等学校・高等専門学校が対象
- 「第15回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」  
(主催:日刊工業新聞社) 大学・大学院・高等専門学校・短期大学・専門学校の学生が対象
- 「EY Winning Women (EWW) 2019」  
(主催:EY新日本有限責任監査法人) 女性経営者が対象

# 「2019年度起業と起業意識に関する調査」

日本政策金融公庫総合研究所調査

- 2013年度から実施しており、副業起業家やフリーランスの増加に伴い、7回目の今回から「起業家」の一部を取り出し、新たに「**パートタイム起業家**」という新型を設けた。
- 事業に充てる時間が1週間当たり35時間未満の「パートタイム起業家」の52.7%は「**現在も勤務しながら事業を行っている**」ことが明らかになった。
- パートタイム起業家は、起業の時の年齢が「**29歳以下**」の割合が**40.6%**と起業家(27.8%)に比べてかなり高い。
- 性別にみると、**女性の割合はパートタイム起業家が42.1%**と、起業家(23.2%)に比べてかなり高い。
- 起業費用を見てみると、「50万円未満」(起業家30.0%、パートタイム起業36.8%)、「費用はかからなかった」(起業家28.3%、パートタイム起業45.4%)。**少額の資金で起業する人が多い。**

# 「2019年度起業と起業意識に関する調査」

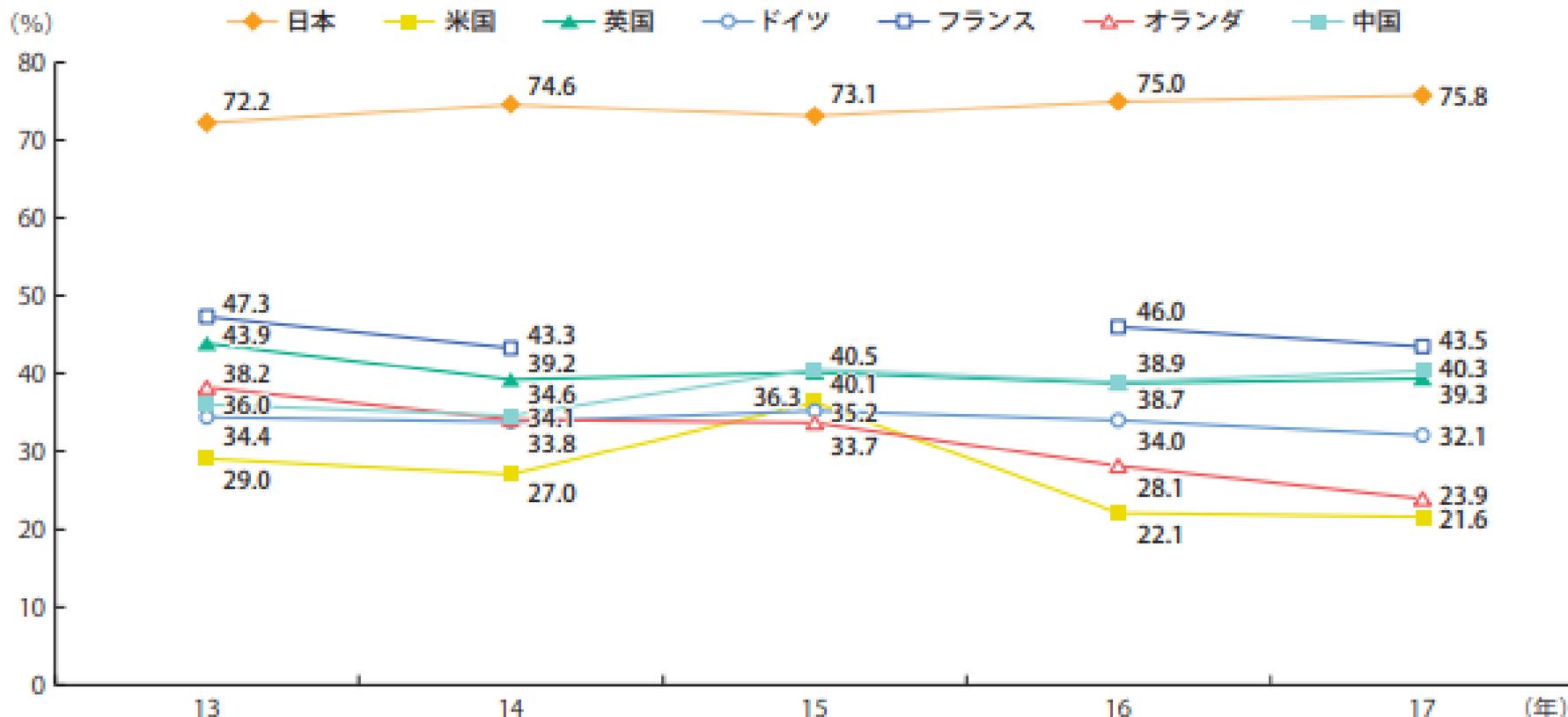
日本政策金融公庫総合研究所調査

- 起業する際にあつたらよいと思う支援策は、「**税務・法律関連の相談制度の充実**」(54.3%)が最も多く、「**技術やスキルなどを向上させる機会の充実**」(34.3%)が続き、**経営スキル面での支援**を多く求めていることが分かった。
- 起業に踏み切れない理由としては、「**自己資金が不足している**」(50.8%)、「**失敗したときのリスクが大きい**」(41.1%)、「**ビジネスのアイデアが思いつかない**」(37.0%)と回答。**資金面やリスクを理由に、起業に踏み切れない実態**が分かった。

# 起業意識の国際比較

『2019年版小規模企業白書より』

GEM調査によると、我が国の起業意識は諸外国と比べると、起業無関心者の割合が一貫して高水準で推移しており、**起業意識が相対的に低い**ことが分かる。



資料：「グローバル・アントレプレナーシップ・モニター（Global Entrepreneurship Monitor：GEM）調査」日本チーム再編加工

(注)1. ここでいう「起業無関心者」とは、「過去2年間に、新しく事業を始めた人を知っている」、「今後6か月以内に、自分が住む地域に起業に有利なチャンスが訪れる」、「新しいビジネスを始めるために必要な知識、能力、経験を持っている」の3つの質問すべてに「いいえ」と回答した人をいう。

2. 3つの質問について、「わからない」と回答した人、無回答の人を除いて集計している。

3. 国によって調査していない年がある。

# オランダでは小規模事業者が増加傾向に

『2019年版小規模企業白書より』

オランダでは小規模事業者が増加している。

最近10年間で企業数が1.6倍に増えており、  
「その大半が従業員1名の事業者」が占めている。

また、企業経営者の**11%が30歳以下**で、規模の小さい企業ほど若い経営者の割合が高くなっている。

さらに興味深いのが、「**従業員1名の事業者のうち、約40%が副業として事業を行っている**」と言われていること。

この背景には**3つの要素**があると言われている。

1つ目は、**多様な働き方**を進展させる社会制度の導入。

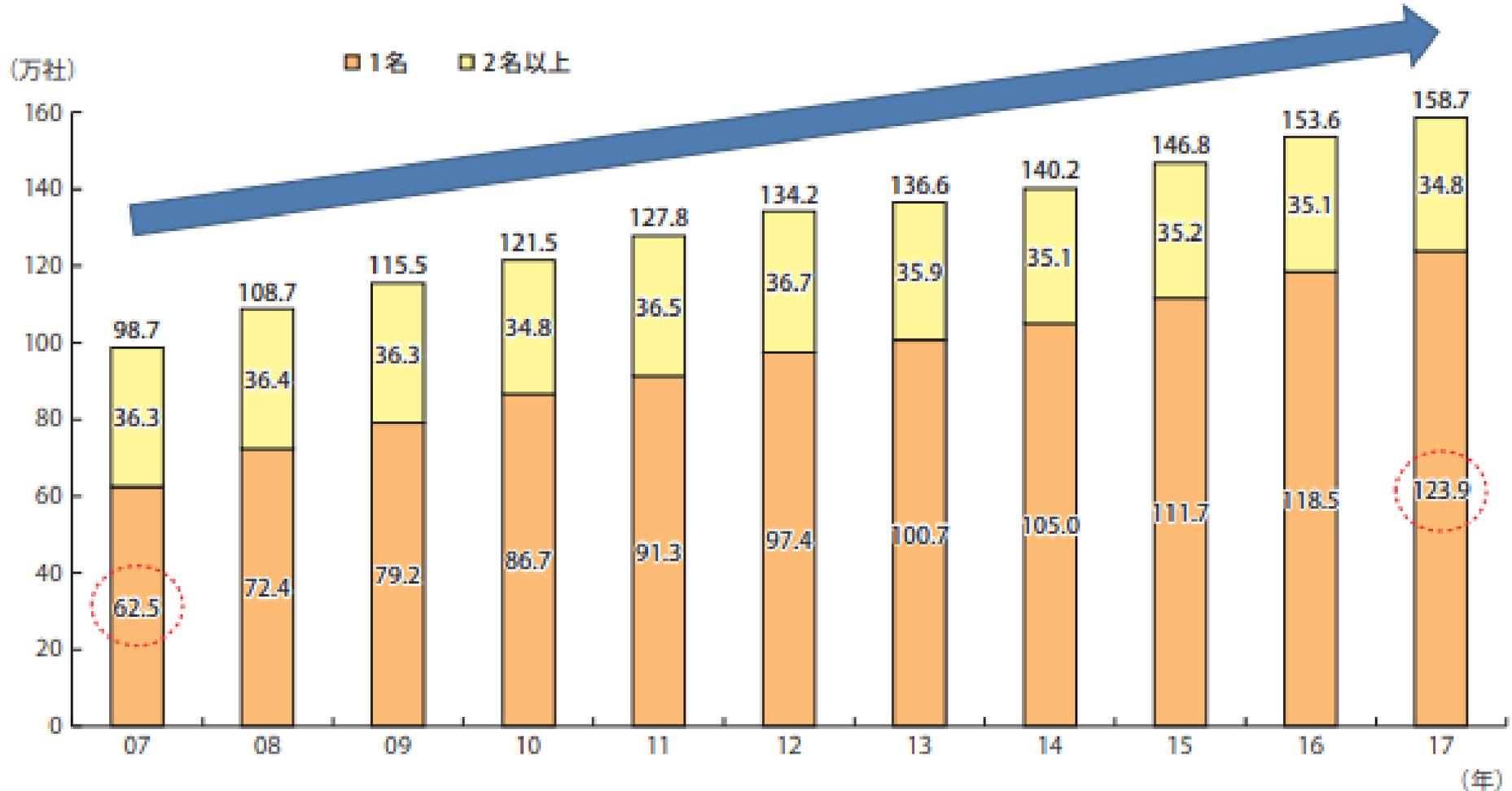
2つ目は、国内企業の雇用創出が低下し、**自己雇用である起業が重要な選択肢の一つ**になったこと。

3つ目は、**実践的な職業教育の取り組み**が教育機関と企業が連携して実施されていること。

(堀潔『オランダにおける起業(起業)増加の背景』[2017])

# オランダでは小規模事業者が増加傾向に 『2019年版小規模企業白書より』

オランダの従業員規模別の企業数の推移



資料：オランダ中央統計局ウェブサイト「StatLine」より中小企業庁作成

(注) 企業数は各年初の数値を集計している。

# 広がる起業家教育、ビジネスプランコンテスト

我が国では**起業家教育**や**ビジネスプランコンテスト**などを取り入れながら、地域の創業を促進させるため、市区町村と連携した民間事業者等が行う**創業支援の取り組み**や、**創業に関する普及啓発を行う取り組み**などが活発になってきている。

＜中小企業庁：平成31年度創業支援等事業者補助金（広域的な創業支援モデル事業）など＞

学生や大学などの教育機関が主催するビジネスコンテストは数多く存在するが、**主催者も多様化が進み**政府や地方自治体、企業が主催する**ビジネスコンテストも増加傾向にある**。**対象者も**一般社会人、大学生に留まらず、高校生、小中学生向けなど**広がりを見せている**ようだ。

経済産業省の調査（2015年）によると、**小学校の10%、中学校の33%**がすでに起業家教育に取り組んでいることが分かった（全国の小中学校2000校対象、有効回答数569）。

今後益々、**小中学生向けの「起業家教育」が重要視**されていくと考えられる。

全国の高等学校・高等専門学校が対象

# 「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」

日本政策金融公庫が主催で、実社会で求められる「自ら考え、行動する力」を養うことのできる**起業教育を推進**し、次世代を担う**若者の創業マインドの向上**を目指すことを目的として、平成25年度から毎年開催している。

令和2年1月12日、東京大学本郷キャンパスにて、第7回「高校生ビジネスプラン・グランプリ」の最終審査会が開催され、応募総数 3,808件(409校)の中から**大阪府立三国丘高等学校が「PeriPeri～もったいないとは言わせない～」**でグランプリを獲得。

**市販スティックのりの受け皿(底)に残るのりに着目**。最後までのりを無駄なく使用でき、環境に配慮した**ポリ乳酸素材の容器で「新型スティックのり」**を製造・販売するプラン。

**高校生ならではの着眼点で、ビジネスとしての可能性やSDGsの視点**を取り入れながら、**楽しく使える商品**を考案したことが高く評価され受賞に至った。

大学・大学院・高等専門学校・短期大学・専門学校の学生が対象

# 「第15回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」

日刊工業新聞社が主催で、全国大会は今年で16回目。実際に起業して活躍している先輩も多いようだ。全国8地域（北海道、東北、東京、中部、大阪、中国、四国、九州）で開催しており、地域大会を勝ち上がった学生は「全国大会」で「経済産業大臣賞」「文部科学大臣賞」の受賞を目指す。起業家を目指す学生の支援、新産業の創出と人材育成を目的としている。

平成31年2月18日「第15回キャンパスベンチャーグランプリ(cvg)全国大会」経済産業大臣賞を受賞した**広島大学大学院の北村拓也氏**。

プランは「**Cyship (サイシップ)サイバーセキュリティーの体験学習アプリ**」サイバーセキュリティーをゲーム形式で学べる学習アプリケーション。

自身が所属する**学習工学研究室での研究で得た知見も活用し、起業に対する強い想いと社会課題に真正面からチャレンジする内容**が評価された。

**セキュリティをゲームのように楽しく学べるもの**を作って、本当の面白さを伝えたいという思いから「Cyship(サイシップ)」を開発。

**コンピュータがわからなくても、セキュリティの攻防を体験しながら学べるCyship**。子供の頃に夢中になった戦艦バトル(Ship)×サイバーセキュリティーの学習ソフト。

女性経営者が対象

## 「EY Entrepreneurial Winning Women(EWW) 2019」

EY新日本有限責任監査法人が主催で、イノベーションにあふれた女性経営者を表彰する「EY Winning Women」を2015年に創設。女性経営者とその事業の成長を応援することを目的としている。

令和元年12月3日、東京ミッドタウン日比谷で「EY Winning Women 2019 表彰式」が開催さ、ファイナリスト6名が表彰された。

ファイナリストの一人が(株)Lily Med Tech代表取締役の東志保氏。女性に優しい乳房用超音波画像診断装置の実現を目指している。同社は2016年創業の乳がん用画像診断装置の開発を行う、東京大学発の医療機器ベンチャー企業。

同社が開発している「リングエコー」は、安全性と精度の高い乳がん用診断装置。受診者がうつぶせになり乳房をベッドの穴に入れると、円環状の超音波振動子が上下に移動しながら乳房内を撮像する。

振動子が身体に触れることはないため、受診者が撮影中に痛みなどを感じることはないことが特徴。

# 起業の担い手の動向（まとめ）

- 「副業・フリーランスなど多様な働き方」による起業の担い手が多様化している。
- 「起業マインドの醸成」が新たな起業の担い手を輩出している。
- 起業の担い手は益々多様化していく傾向にある。

- ご清聴ありがとうございました